

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 中間案
に係る市政モニターアンケート調査結果について

1. 回収結果

- ・ モニター数 200名
- ・ 意見数 182名
- ・ 回答率 91.0%
- ・ 回答者の年齢構成

	回答数(人)	構成比(%)
20歳代	13	7.2
30歳代	41	22.7
40歳代	42	23.2
50歳代	20	11.0
60歳代	47	26.0
70歳以上	18	9.9
合計	181	100.0

2. 設問項目ごとの主な意見及び集計結果

(1) 設問項目

【高齢者保健福祉計画 問5】

高齢者保健福祉計画分野(第1章～第4章)の下記の点について、自由な意見をご記入ください。

- (1) 第3章では「基本目標」とその実現に向けた施策の「7つの柱」を掲げ、介護保険制度の改正や高齢者を取り巻く社会情勢の変化、東日本大震災の経験等を踏まえ、高齢者の安全安心な暮らしの確保や生きがいづくりをはじめ、介護予防の総合的推進や地域における支え合いなどに重点をおいた施策展開の方向性を示しています。その内容についてどう思いますか。
- (2) 第4章では「7つの柱」の中で取り組む施策を体系づけています。その内容についてどう思いますか。また、中でも特に重点的に市が取り組むべき項目は、どの項目だと思いますか。
- (3) その他、高齢者保健福祉計画分野(第1章～第4章)についてご意見等がありましたら、自由にご回答ください。

【介護保険事業計画 問6】

介護保険事業計画分野(第5章～第6章)の下記の点について、自由なご意見をご記入ください。

- (1) 現在の介護保険制度について、日頃どのように感じていますか。
- (2) 市町村特別給付、低所得者の方々への対応、保険料段階の設定などについて、どのように思いますか。
- (3) 65歳以上の方(第1号被保険者)の介護保険料の試算についてどう思いますか。
- (4) その他、介護保険事業計画分野(第5章～第6章)についてご意見等がありましたら、自由にご回答ください。

(2) 設問項目ごとの主な意見の概要について

【高齢者保健福祉分野（第1章～第4章）】

問5(1) 基本目標「7つの柱」について

基本目標「7つの柱」については、的確で良いという意見の一方、抽象的で、具体例が欲しいという意見なども寄せられました。

計画の方向性は良いと思う。「7つの柱」についても、基本的に良いと思う。

「7つの柱」は、基本目標の実現に向けた確かな内容だと思う。

施策としての方向性は、あらゆる視点から網羅した内容になっており妥当。

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえて施策の柱を明示してあり妥当。

目標は理想的。ただ、実現するには漠然としている。

- この表現だけでは現状の問題点、目標などの具体例が見えにくい。
具体策を多くあげたほうが良いと思う。

問5(2)「7つの柱」の施策体系、重点項目について

重点項目として挙げられた件数と主な意見は、施策体系別に以下のとおりとなりました。

(1) 高齢者が安全に安心して快適に暮らせる環境づくり 47件 (23.2%)

- ・災害時に援護が必要な高齢者を地域で支援する仕組みづくりを推進してほしい。
- ・安全・安心な住まいの確保が重要。それなくして心と体のケアはない。
- ・地域環境の整備に重点を置き、買い物弱者にならないような取り組みなど、高齢者の自立した生活を周りがサポートできたらよい。

(2) 生きがいづくり・社会参加の促進 37件 (18.2%)

- ・高齢者が培ってきた知識能力を生かす方向を前面に立てた対策が大事。
- ・多種多様な機関・団体と連携をとりながら取り組む事が大事。情報提供も必要。
- ・小学校、中学校、高校など、学校とより身近につながる事ができたらと思う。

(3) “豊齢力アップ”を目指した介護予防・健康づくりの推進 19件 (9.4%)

- ・一人ひとりが引きこもることなく元気に楽しく暮らすことが大切。
- ・活動の範囲を広くするためにも、環境づくりに重点を置いてもらいたい。

(4) 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり 15件 (7.4%)

- ・一般の市民に向けた、認知症の方への理解と対応を学ぶ機会を増やす必要がある。
- ・かかりつけ医の認知症に対する理解度の向上を図り、専門医に繋げる支援が必要。

(5) 「地域の支え合い」への支援 36件 (17.7%)

- ・一人暮らし高齢者への支援拡充はもちろん、介護家族への支援も重要視する必要あり。
- ・高齢者一人ひとりにきめ細かに目配りするには、地域包括センターの充実が大事。
- ・地域のコミュニケーションが図られるような施策展開が必要。

(6) 介護サービス基盤の整備 39件 (19.2%)

- ・特別養護老人ホームや介護老人保健施設など施設の十分な確保が必要。
- ・すぐに施設に入所できるよう、まずは待機者ゼロにすべき。

(7) 介護サービスの質の向上 10件 (4.9%)

- ・多様なサービスが適切に提供されるよう、情報提供の充実を図っていくべき。

計 203件 (100.0%)
(重複回答含む)

問5(3) 高齢者保健福祉計画分野(第1章~第4章)について

高齢者保健福祉計画分野全般については、主に以下のような意見が寄せられました。

- 計画は良いが、もっと具体的なことが見えたのなら良かったと思う。
一般の市民向けには少し分かりにくい内容。若い人にも興味をもってもらえるように。趣旨や位置づけは充分である。推進にあたって地域関係者へのアプローチが必要。高齢者のライフスタイルは健康面に大きく左右される。その点をよく踏まえた計画内容。現状をよく踏まえた上での施策推進は好感がもてる。
もっと市民の自主的な努力、予防への取り組みなどを強調してもいいと思う。
重点的にやっていくことがらを最優先させて達成していく必要がある。
同計画の達成状況の点検、評価の内容を盛り込んでほしい。
地域で求められているものを把握するためにアンケート調査を行うのもひとつ。

【介護保険事業計画分野(第5章~第6章)】

問6(1) 現在の介護保険制度について

介護保険制度をわかりやすく広報して欲しいという意見や、サービスの利便性・質の向上に関する意見などが寄せられました。

- 上手に利用している人とそうでない人がいる。もっと説明が必要。
- 介護が身近でない人にはこの制度はあまり浸透していない。そういう人にも周知が必要。
- 制度が細分化されてきており、分かりにくい。
事務手続きが複雑である。簡略化すべき。
ニーズに即した迅速なサービスの提供が必要。
- 増えていくサービスに対して、介護人材の育成は追いついているのか。
- 働き手不足が問題視されている。給与面の処遇改善が求められる。
- 何度か見直しが行われており、ある程度の市民ニーズには応えていると思う。

問6(2) 市町村特別給付、低所得者の方々への対応、保険料段階の設定について

【市町村特別給付】

市町村特別給付は実施しなくてもよいという意見などが寄せられました。

- 市町村特別給付を実施しない理由は理解できる。
- 保険料を上げてまで実施する必要はない。

【低所得者の方々への対応】

低所得者に保険料の減免が必要とする意見や、軽減措置・配慮が必要とする意見などが寄せられました。

低所得の方々への介護保険料の軽減措置は当然行うべき。

- 低所得者には負担の軽減措置や配慮が必要。

【保険料段階の設定】

所得に応じた段階設定は必要という意見や、段階をさらに細かくすべきとの意見などが寄せられました。

- 所得に応じた保険料段階設定は妥当である。
9段階から12段階に増やし、より細かい設定にするのはよい。
- 収入に応じた差がもっとあってもよい。
15段階くらいにもっと段階を細分化してもよい。
高所得者への割合はもっと高く設定してもよいのではないか。
低所得者層をもっと細かく分け、少しでも金額を減らすもの一考。

問6(3) 65歳以上の方(第1号被保険者)の介護保険料の試算について

お寄せいただいた意見を以下のとおり分類し集計しました。

内 容	市政モニター	
	意見数(件)	割合(%)
概ね妥当(やむを得ない等の回答含む)	61	36.5
高い	28	16.8
もっと増額してもよい	3	1.8
分からない	16	9.6
その他	59	35.3
合 計	167	100.0

(概ね妥当という意見)

- サービス利用料の増加と制度改正による影響を見ると、妥当だと思う。
- 所得に応じて決定されることと、基金を充当されて軽減されているので納得のいく数字。
- 介護サービスは高額なので、毎月の介護保険料負担分は高くないと思う。
- 保険料の増額は、サービスの充実・向上にはしょうがない。
- 高齢者や認知症の方が増加しているのでやむを得ない。
- 保険料上昇は、対象世代負担という観点からやむを得ない。

(高いという意見)

- 年金受給生活者には高すぎる。
- せめて全国平均くらいに減額すべき。

(もっと増額しても良いという意見)

人口構成比と所得を考慮しつつも、65歳以上の負担をもう少し大きくしてもよいのでは。

(その他)

65歳以上の高齢者は保険料を支払わなくてもよいと思う。
低所得者に対しては負担減になるように配慮を。

問6(4) 介護保険事業計画分野(第5章~第6章)について

介護保険事業計画分野全般については、主に以下のような意見が寄せられました。

基本構想はよいが、最終的には医療と介護が一体化していくことが必要。

- サービス内容はその時代のニーズにより変わって当然。今後のニーズに即したサービス提供の実現に向けた計画策定を望む。

数字がならび分かりにくい。もっと分かりやすく。

施策の各分野について各年度の評価・報告を考慮されたい。

保険給付費の適正化のために、事業者に対する指導、監査を徹底してもらいたい。

市民説明会の実施はよいこと。高齢者の意見を反映させ計画の充実を図ってもらいたい。